

美術館・古民家・モノレール…

# 国際的な催しは「非日常空間」で

## 千葉市、MICE誘致へ本腰



千葉市美術館の「さや堂ホール」は8本の円柱が並ぶネオ・ルネサンス様式の空間＝ちば国際コンベンションビューロー提供

### MICE(マイス)

Meeting (企業などの会議)、Incentive Travel (企業などの研修旅行)、Convention (国際機関・団体や学会などの国際会議)、Exhibition または Event (展示会や見本市、イベント) の頭文字。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称になっている。

国際会議や企業の展示会など「MICE」の誘致に力を入れている千葉市が、市内の歴史的建造物や文化的価値の高い施設などを会場として貸し出す事業に本腰を入れている。成田空港や東京都心に近い立地を生かし、「非日常空間」での催しをPRして、誘致競争を繰り広げる他都市との差別化を図る。

「ユニークベニュー(特別な会場)」とも言われる施設を活用する取り組み。美術館や博物館、歴史的建造物など普段はイベント会場としてあまり使われない場所を活用することで、特別な雰囲気や地域の特性を演出できる。

市観光MICE企画課によると、市内で開催された国際会議の件数は、2011年は30件▽12年32件▽13年28件▽14年31件▽15年31件で頭打ちの状況。そこで市は、マンネリ化しがちな会議や催しについて、非日常的な多様な会場をそろえ

て主催者に目新しさをPRすることにした。

イベント向け施設などの貸し借りを仲介する「スペースマーケット」(東京と連携。同社は千葉市MICE施設まとめサイト) (URL: <https://spacemarket.com/features/chiba-city/>) を開設し、3月下旬から10施設の公開を始めた。海・里・まち 三つが揃う千葉市」と掲げ、市ならではの魅力も発信する。

10施設は、1927(昭和2)年の建築で洋風の市美術館の「さや堂ホール」(中央区)▽フクダ電子アリーナのVIP来賓席(同)▽千葉ポートタワーのオーシャンビューレストラン(同)▽ふるさと農園の古民家(花見川区)など公共施設7カ所と、千葉都市モノレールなど民間の3カ所。それぞれの画像にキャッチフレーズを添え、魅力をアピールしている。

「Jリーグ公式戦でも使

用する天然芝のピッチが目前に見える会議室」(フクダ電子アリーナ)

「昼は富士山、夜は工場夜景を地上109階の高さから眺めながらロマンチックな会議やパーティー開催可能」(千葉ポートタワー)

ふるさと農園にある古民家では、靴を脱いで和室での会議も開催できる。モノレールは、運行中の車両を貸し切りにして懇親会などに利用できる。

市は15年6月、観光庁の支援を受けられる「グローバルMICE強化都市」に県とともに指定され、外国人アドバイザーによるコンサルティングなどのMICE誘致促進活動に取り組んできた。今後も公共・民間のユニークベニューをサイトに掲載していく考えで、市の担当者は「他都市にならぬ『おもてなし』で国際会議の誘致を増やしたい」と話している。(木村浩之)